



# 碧南ロータリークラブ週報

第2715回例会 平成26年12月10日(水)

- 会長 石橋 嘉彦
- 幹事 伊藤 正幸
- 会場監督(SAA) 清澤 聡之

2014-2015 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 事務局 碧南商工会議所内  
TEL<0566>41-1100  
ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>  
E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 例会場 碧南商工会議所ホール  
〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90  
FAX<0566>48-1100



- 会報委員 奥津順司・藤関孝典・岡本彰人

## ●斉 唱

ロータリーソング 「我等の生業」

## ●本日のメニュー

和風弁当 大正館

## ●本日のお客様

弁護士 白濱重人様

## 会 長 挨 拶

平成26年も半月少々を残す時期となりました。今年の話題の一つとして、3名のノーベル賞受賞者が選ばれた事がございます。本日12月10日はノーベルの命日です。その日に受賞式がスウェーデンのストックホルムにおいて行われます。



石橋嘉彦会長

日本人のノーベル賞受賞者は、1949年湯川秀樹博士から2012年の山中伸弥教授までで19名、今回の3名で22名の受賞者となります。

ダイナマイトを発明したアルフレッド・ノーベルは死の商人として非難されました。ダイナマイトは鉱山開発や道路や港湾工事など、開発や建設工事に大いに使われ、インフラ整備や経済発展に大いに貢献したわけですが、反面、この破壊力を利用して戦争でも爆弾として使用され、多くの兵士や市民がその犠牲となり、その発明者のノーベルを非難するようになったわけです。

ノーベルは莫大な資金を基金にノーベル賞を創設することを望み、ノーベルの死から1年後の1895年に創設され、1901年に初の授与式が行われました。初の受賞者はウィルヘルム・レントゲンでした。科学技術というものは人のために役立ててほしいものです。

## 幹 事 報 告

本日は5点につきましてご報告させていただきます。

- ・ 他クラブの例会変更等のお知らせはございません。
- ・ 12月3日に開催致しました、第6回理事会の報告、及び協議事項を幹事報告書に記載してございますので、お目通し下さい。
- ・ ガバナー事務所より、2017-2018年度ガバナーノミニー選出の報告、そして次年度西三河分区ガバナー補佐及び、分区幹事より就任のご挨拶が届いております。
- ・ 今年度入会されました、山本さんと八馬さんの会員名簿追加シールが幹事報告書に添付してございます。事務局の間瀬さんにきれいに作って頂きましたので、幹事報告書の19ページの渡部さんの下にお張りください。
- ・ 次回の12月17日例会ですが、プログラムの都合上、クラブ例会規定2の(g)に則りまして、例会開始前12時より、お越しになった方よりお食事をお召し上がり頂くという事にさせていただきますので、よろしくお願い致します。



伊藤正幸幹事

## 委 員 会 報 告

### <出席奨励委員会>

総会員数 69 名 (内出席免除者 17 名の内出席者 11 名)出席者 58 名	
出席対象者 58/63 名	出席率 92.06%
欠席者 11 名(病欠者 0 名)	前々回修正出席率 100%

※三週連続出席率 100%の場合は記念品を差し上げます。

### <ニコボックス委員会>

- 伊藤 正幸君 長田昌昇さんにお世話になりました。
- 平岩統一郎君 碧南商工会議所主催の「タイ・ミャンマー経済視察研修」無事終了しました。  
技能五輪並びにコマ大戦碧南場所、盛会に開催することができ有難うございました。
- 小笠原良治君 事務局の間瀬様には先週と今週と大変ご迷惑をかけました。来週は何があっても出席します。
- 黒田 泰弘君 タイ・ミャンマー経済産業視察研修会に参加させて頂き、大変勉強になりました。碧南商工会議所の会頭・副会頭様には大変お世話になりました。本日の卓話の講師、白濱重人様をご紹介致します。
- 鈴木 宏枝君 今年も無事に一年が過ぎようとしております。金婚式で頂いたお花も目を楽しませてくれております。ありがとうございました。平和に感謝です。

「リバタリアンは復活したのか」

弁護士 白濱重人様



白濱重人様

ご紹介頂きました白濱です。碧南には、2歳から33歳までいましたので、隅から隅まで分かっております。

弁護士になる前に碧南で白濱塾という学習塾をやっておりまして、その時の卒業生が新美雅浩ですし、貝田です。教え子がここにいるのが非常に違和感があります。

リバタリアンとは元々リバタリアニズムという思想からきております。この考え方をしている人をリバタリアンといいます。よく似た考え方でリベラリズムというのがあります。リベタリアンは自由主義です。その究極がリバタリアンで、日本語に訳すと自由至上主義です。あらゆる規制を排除し、国や政府から解き放たれた自由というのが、リバタリアニズムと言われております。リベラリズムは、国家というものがありきです。例えば、表現の自由、職業選択の自由等です。よく似たのでアナキーがあります。これは無政府主義です。これは国自体いらぬという考え方です。リバタリアニズムは、国はあるにはいますが、関与するな、といったような主義です。

これらに対し、対比されるのが、パターナニズムというのがあります。これは父権主義です。だまっておれに着いてこい、といった考えです。

一昔前は、医者も弁護士もパターナニズム的な感じでした。医者の場合ですと、それじゃいかんから説明義務を果たさなければいけない、といった流れでインフォームドコンセントなどが出てきました。

リバタリアニズムというのは、他からの干渉を一切排除したいという考え方ですので、共済や協同組合などは助け合いですので、リバタリアンからすると考えられないのです。自助の精神ですので、公助や共助は排除します。公共事業や健康保険制度もいらぬとなります。

アメリカは共助という考えがあまりなく、病気になったとしても病気になった人だけが治療すればいいじゃないか、といったような感じです。しかし、オバマになった時に健康保険制度が確立されました。あの大きな国ですら健康保険が確立されなかったのは、基本的な考え方が違うからです。

飲食業組合や喫茶店組合などが水曜日を定休日にしましょうや、コーヒーの値段を一律にしましょう、といった内容は共助ですが、これも排除します。また、国から受けられる援助などの公助も排除します。

一昔前は銀行にも規制があり、証券をやってはいけない、各店舗を出す際は許可をとりなさい、などの規制がありました。リバタリアンはそれらを排除しましょう、というところからきています。

納税義務もリバタリアンからすると、国にお金を払う義務を負担するというのは何事か、助けてもらわぬから払う義務もないのではないかと、納税義務も否定しようとしません。納税ではなく、行政サービスに対する対価を払うのでそれに見合った行政サービスをし

て下さい、となります。昔は市役所の方は高飛車の方が多かったのですが、現在ではサービスもよく、こういった考え方がもともになっているかもしれません。

労使関係ですが、リバタリアンからすると正規雇用だろうが非正規雇用だろうが選べばいいのだから、それはそれでいいじゃないか。最低賃金なんてのはナンセンスで、その賃金が嫌ならば働かなければいいじゃないか、となります。たくさんの賃金が欲しければ、切磋琢磨してがんばればいいという考えです。

教育について、義務教育に関しても否定です。学校を選んで行かせるのも行かせないのも親の自由だ、という考え方です。

国と地方についても同じです。これまでは国が地方に対して言う事を聞きなさい。そうすれば補助金を出しますよ、というものでした。交付税などやる際には国に許可を取りなさい、というものです。リバタリアン的な発想をすると、地方は地方で国が口を出してくれなくていい、補助金を出すから言う事を聞きなさいというパターンニズム的な考えから今は変わりつつあります。ここにもこの考え方が反映されていると思います。

地球規模で見ますと、関税や TPP などは悪の権化です。自由な経済を関税で守る、国内の企業を守る、というのはいらない。ボーダレスにして、世界規模で自由に経済をできるようにしようというのがリバタリアニズムです。

尊厳死というのが問題になっております。リバタリアンからするとこれは当然の事です。自分の「死」さえも自己決定する。自己決定の尊重というのが、リバタリアンの中では一番大きな事かなと思っております。最後の「死」さえもこの考え方が反映されるのかなと思っております。

リバタリアニズムは自助しかないので、勝ち組、負け組が必ず出てきます。自分で決定するのだから結果についても全て自分で責任を負います。だから失敗すると自分で責任を負うわけですので、負け組になり、自殺の確立が高くなります。いわゆる格差が生まれます。格差もリバタリアンからすれば当たり前です。格差が出てくると富の再分配という考え方が、共産、社会的な考え方から出てきます。これは当然否定です。

これが日本ではどのようになるかといいますと、刈谷 RC で話した時はリバタリアニズムが下火になる時期でした。日本でリバタリアン的な考えに進み始めたのが、小泉内閣の時です。小泉純一郎と竹中平蔵がリバタリアン的な考えを持っているのではないかと私は思います。聖域なき構造改革、規制を一切撤廃しようという事であの時は動いていました。そして格差ができ、失業者が増え、自殺者が増えました。自由にやらせてはいけなかったのではないかと、失敗だったのではないかと、という事で民主党になり、アメリカでも共和党からオバマ政権になりました。そのタイミングで、「リバタリアンは終わったのか」という話を刈谷 RC で話しました。

ところが民主党政権が倒れ、自民党になりました。アメリカではこの前の選挙で共和党が勝ちました。共和党は元々リバタリアン的な発想で、医療保険制度なんてのはいらないという考えです。日本でも格差は生まれますが、競争原理を植え付けようとしているように見えます。アメリカで大統領選挙がありますので、共和党が勝てばまたリバタリアン的な方向へ振り子が振れていくのかな、と思います。

アメリカには既にリバタリアン党という政党があります。これも最近では支持率を伸ばしていると言われております。日本でもおそらく規制が撤廃されて、農業においてもリバタリアン的な考え方が浸透してくるのかな、と思います。

今からこのような考え方で見ていくとおもしろいのかな、とそう思います。世の中の色々な事象をリバタリアニズムとパターナニズムで考えてみますと、結構おもしろいです。ご参考までにご披露致しました。

### 次回例会案内

平成26年12月20日（土） 17：00～

会場：衣浦グランドホテル　クリスマス家族会

平成26年12月24日（水）　20日の振替休会

平成26年12月31日（水）

定款第6条第1節Cの規定による休会

平成27年1月7日（水）

定款第6条第1節Cの規定による休会

平成27年1月14日（水）　新年例会